

ユーザズ マニュアル

PC+

2.1チャンネル Bluetoothスピーカー

BT-01SPKシリーズ

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Version:1.2 PMN-06-06-NW-BT-01SPK

※最新の情報は弊社ホームページ(<http://www.planex.co.jp>)をご参照ください。

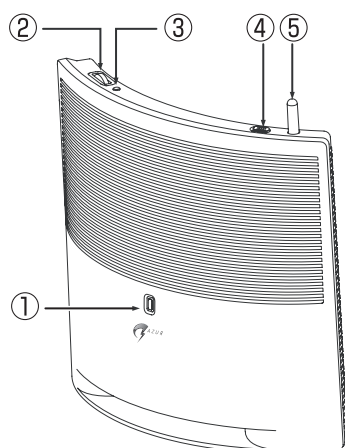
はじめに

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

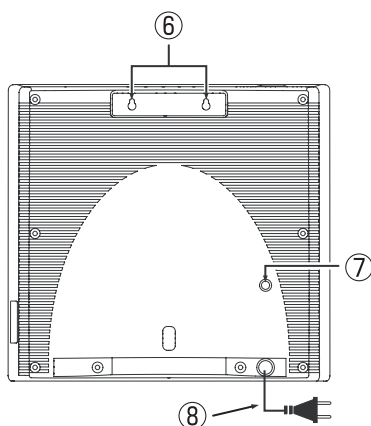
- ☒ ユーザーズ・マニュアル(本紙) ☐ BT-01SPK(本製品)
☐ 壁掛けキット ☐ 安全に関する説明書
☐ 保証書

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

各部の名称とはたらき



- ①LED
動作状態を示します。
※表1参照
- ②ボリューム(Vol)
- ③Pauseボタン
- ④電源スイッチ
- ⑤Bluetoothアンテナ



- ⑥壁掛けキット・ホルダー
付属の壁掛けキットを取り付けます。
- ⑦外部入力端子(Audio in)
ステレオミニジャック対応です。
- ⑧電源ケーブル

<表1>

青	約4秒間隔で4回点滅	Bluetooth通信中
	点灯	外部入力端子接続中(Bluetooth通信オフ)
	消灯	電源オフ
青赤	交互点滅	Bluetoothペアリング待機状態

操作手順

■準備手順

使い始める前にBluetooth機器との間でペアリングが必要になります。
以下の手順でペアリングします。

- ① 本製品の電源ケーブルをコンセントにつなぎ、電源スイッチをオンにします。
LEDがペアリング待機状態を示す青色と赤色の交互点滅になります。
- ② お使いのBluetooth機器を操作し、ペアリングを行います。
※操作方法は、Bluetooth機器側のマニュアルを参照ください。
※ペアリング中にPINコード、またはパスキーを要求されたときは「0000」(ゼロが4つ)を半角で入力してください。
- ③ お使いのBluetooth機器がペアリング状態になっていることを確認します。
以上でペアリング完了です。
※確認方法は、Bluetooth機器側のマニュアルを参照してください。

ペアリングが失敗したときは、各機器の電源をオフにして再度、手順の①から行ってください。

■再生手順

- ① 本製品のLEDが青く点滅しているか確かめます。
青赤の交互点滅のときは、お使いのBluetooth機器で接続操作をします。
- ② プレイヤーで音楽再生を始めます。
- ③ 本製品のボリュームを調節します。
※スピーカーから出る音量に十分注意してください。
はじめはボリュームを最小にして少しずつ調節してください。

ワンポイント

- ペアリング後に常時接続や自動接続をしないBluetooth機器では、再生時に接続操作が必要になることがあります。
再生時に本製品のLEDを確かめて青赤の交互点滅のときは、Bluetooth機器の接続操作をしてください。
- ボリューム調節をしても音が小さすぎるときは、再生側の音量調節を確かめてください。
- 本製品はステレオミニジャックが付いたオーディオケーブル(別売り)を使って接続ができます。
- オーディオケーブル接続中は、Bluetooth通信は中断します。
- 本製品の電源をオフにしても通常は再度ペアリングする必要はありません。
- 本製品の仕様上、使用中に音声途切れることがありますが、故障ではありません。

本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「感電」「火災」「故障」などが発生する場合があります。
これによって本製品を利用される方が負傷されたり死亡につながる恐れがあります。また、万一「発火」「発煙」「溶解」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠️ ご注意

■ご利用上の注意

本製品はすべてのBluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

●Bluetooth(TM)接続においては、IEEE802.11g または IEEE802.11b 無線LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所その他、電波状態の悪い環境で使用した場合、接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。

●Bluetooth(TM)と無線LANは同じ2.4GHz帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth(TM)、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

●弊社は、Bluetooth(TM)によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。

2. 4 F H 10

■健康への影響

Bluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーを用いた製品は他の無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

本製品の動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものです。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がBluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

- 飛行機の中でBluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーを用いた製品を使用する場合
- 他の装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth(TM)ワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

■取り扱いに関して

- ・湿気やほこりの多いところに保管しないでください。
湿気やほこりの多いところに保管することで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・機器を危険な場所に置かないでください。
調理台や加温器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かないでください。
火災・感電やけがの原因となることがあります。
- ・本製品を重ねて設置しないでください。
本製品を重ねて設置することで製品が加熱し、感電、火災などの発生、または本製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・振動の多い場所や不安定な場所では本製品をご利用にならないでください。
振動の多い場所や不安定な場所では本製品をご利用になることで、本製品の落下、誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・静電気に注意してください。
本製品は精密機器です。静電気の影響によって、製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。本製品を取り付ける際は、コネクタや取り付け部分を触れないなどの注意をしてください。
- ・落下や衝撃に注意してください。
本製品が落下や衝撃を与えることで、感電、火災などの発生、または製品の誤作動、故障などの原因となる恐れがあります。
- ・電源コードを熱器具に近付けないでください。
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・必ずプラグを持って抜いてください。
移動させるときはコードは外してください。
必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・長年に渡って機器を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
旅行などで長期間この機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

■その他

- ・本製品は日本国内でご利用ください。
本製品は日本の国内法のもとで利用可能な製品です。海外での利用はできません。
また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認ください。

- ・本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第3者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・通信内容や保持情報の漏えい、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・ハードウェア、ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- ・輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。

仕様

Bluetooth部仕様	
バージョン	Bluetooth ver 1.2
出カクラス	Class 1
通信方式	FHSS (周波数ホッピング方式)
周波数帯域	2.4GHz帯 (2400~2483.5MHz)
通信距離	最大100m
サポートプロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
スピーカー部仕様 (アクティブスピーカー)	
ユニット構成	サブウーファー×1、 63.5mm サテライト×2、 35mm フルレンジ
定格出力	20W RMS (サブウーファー:12W RMS、サテライト:4W RMS×2)
再生周波数帯域	60Hz~20kHz
ハードウェア仕様	
インターフェース	ステレオミニジャック
LED	Power/Link
電源	AC100V 50/60Hz
外形寸法	281 (W) × 106 (H) × 281 (D) mm (突起部含まず)
重量	約2.15kg
動作時環境	温度:0~40℃ 湿度:10~90% (結露なきこと)
その他	
保証期間	1年間

■注意事項

- ※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 最新情報は、弊社ホームページ (<http://www.planex.co.jp>) を参照ください。
- ※Bluetooth®は、その商標権者が所有している商標であり、ブラネックスコミュニケーションズはライセンスに基づき使用しています。
- ※通信距離は環境に依存します。

技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。



＜お問い合わせフォーム＞

<http://www.planex.co.jp/support/techform/>

[受付:24時間]



＜電話＞

フリーダイヤル: 0120-415-977

[受付:月～金曜日、10～12時、13～17時]

※祝祭日および弊社指定の休業日を除く



＜FAX＞

ファクス番号: 03-5766-1615

[受付:24時間]

＜お問い合わせ前のお願い＞

サポートを円滑に行うため、お問い合わせ前以下のもをご用意ください。お客様のご協力をお願いいたします。

- 弊社製品の製品型番とシリアルナンバー
- ご使用のコンピュータの型番とオペレーティングシステム名 (Windows XP/Meなど)
- ご使用のネットワークの環境 (回線の種類やインターネットサービスプロバイダ名など)
- ご質問内容 (現在の状態、症状など。エラーメッセージが表示されている場合はその詳細を書きとめてください)

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

- プラネックスコミュニケーションズの名称及びロゴは、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の商標です。
- その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
- ご注意:ご使用の際は商品に添付されたマニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。